

検証結果一覧表

別紙1

«評価基準»

「A」…現状維持

「B」…条例改正の必要はないが検討を要する

「C」…条例改正の必要がある

「-」…評価対象外

条番号	条見出し	評価	対応内容	条例改正	逐条改正	検討課題・意見
-	(前文)	-	-	-	-	
1	目的	-	-	-	-	
2	市民の定義	-	-	-	-	
3	議会の活動原則	C	・議会改革及び政策立案について逐条に記載する。 ・災害時対応については、別の条文として規定する。 ・持続可能性・SDGsについては、「SDGs未来都市」という言葉を使いながら逐条に記載する。	○	○	委員会の協議において、議会基本条例に災害時対応について明記した後に、BCP策定について検討する方向性が示された。
4	議員の活動原則	A	-	-	-	
5	会派	B	逐条解説に、会派に属さない議員に対しても適切に意見を求める旨を記載する。	-	○	
6	市民との情報共有	C	・第1項に「原則公開とし、適切に傍聴することができるよう」といった旨で条例を改正する。 ・オンラインによる対話やワークショップなどについて、逐条の最後に追記する。	○	○	
7	議員と市長等の関係	C	「質疑」や「質問」を「質疑等」にまとめるよう条例を改正する。	○	○	
8	重要な政策等の説明	A	-	-	-	
9	法第96条第2項の議決事件	A	-	-	-	

検証結果一覧表

別紙1

«評価基準»

「A」…現状維持

「B」…条例改正の必要はないが検討を要する

「C」…条例改正の必要がある

「-」…評価対象外

条番号	条見出し	評価	対応内容	条例改正	逐条改正	検討課題・意見
10	自由討議による合意形成	B	・第13条を加味しつつ、より積極的に自由討議を行うことについて逐条解説の文言を検討する。 ・逐条解説に、政策立案に関する文言を記載する。	-	○	
11	政務活動費	A	-	-	-	
12	調査制度の活用	A	-	-	-	後の議論として、公聴会制度、参考人制度の活用を進めていけるような方策を検討する方向性が示された。
13	議員研修の充実強化	A	-	-	-	政策立案に関する研修について検討する方向性が示された。
14	議員図書室の充実	A	-	-	-	
15	議会広報の充実	B	SNSの情報発信、積極的な情報発信、議案賛否情報の公開について逐条に追記する。	-	○	
16	情報通信技術の積極的活用	A	-	-	-	委員会の協議において、AIの活用に関する議論の必要性が示された。
17	議会事務局の充実	B	事務局の助言について、逐条に記載する。	-	○	
18	議員の政治倫理	A	-	-	-	
19	議員定数	A	-	-	-	委員会の協議において、議員定数や報酬の改正の在り方等について議論する場の必要性が示された。

検証結果一覧表

別紙1

«評価基準»

「A」…現状維持

「B」…条例改正の必要はないが検討を要する

「C」…条例改正の必要がある

「-」…評価対象外

条番号	条見出し	評価	対応内容	条例改正	逐条改正	検討課題・意見
20	議員報酬	A	-	-	-	
21	最高規範性	A	-	-	-	委員会の協議において、任期開始後の研修の在り方について検討する必要性が示された。
22	見直し手続	A	-	-	-	
23	委任	-	-	-	-	
その他	-	-	なし	-	-	